

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係（毒ガス問題） 第2次移送(5)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43787

在京米大通報(毒ガス事故)

秘
無期限

大臣秘書官
事務次官
外務審議官
官房長
情報文化局長
報道課長
条約課長
安全保障課長
アメリカ局長
参事官
北米才一課長

沖鋒の毒ガス搬出の際
の事故

46.8.25
米北1.

1. 25日午前9時30分在京マヤ-大使より
吉野ア州カ局長に対し、ラポート高等警官か
らの連絡として次の通り電活越した。
(1) 今朝天願棧橋で船積み作業中に
クレーンのクサリが割れて毒ガス容器数箇
が甲板に落下した。容器はハコビ
が、工重装置になっていたため、内側の容

13印(小形) 対米 改定 米 大臣 課長 内科 事務 係長 内付 電活 連絡 済

器は破損はなかった。作業がガスマ
シを付けて詳細に点検したところ、ガス漏れ
は全然なかったことを確認した。待機中
来事であったが、このよう状況で安全
心を得た。
(2) 本件は、ラポートから琉球政府へも
連絡した。
(3) 本件については、米側から積極的に表
示を返すべく、ラポートからの照会が米側
事件を確認し、ガス漏れはなかったと答
えを返す。

2. 後刻 杉本清元より米北 伝言に基

て、次のとおり連絡越した。

(1) 現地において 次の如き 11-2 又は
は 本管 要領 を 作成 した。

(1) 事件は 今朝 7 時 55 分に ^起 越した。GB

が 入 の つ お た ^{容器} (rocket) が 40-50

メートルの高さから、クレーンがぶち

たため 落ちた。

(2) 甲板 上 の 棧橋 上 の 係員 が

^{直上} ~~直上~~ マスクをつけて 逃げた。と あり の 事

検作業 に入 った が ガス 漏れ の 有 い こと

を確認した。落下の際に injury はお

こ して いた。

(1) 容器は 特別 に 2 重 包装 に な っ て い

た。搬出 作業 は 一時 に 再開

された。

(2) 搬出 再開 の 時間 は 確認 中。

(3) (当方 判 断 11-2 を 積極的 に 行 っ

こと に 反 した が とも 照 会 した こと) とも 等

も 現 地 で 検 査 中 だ け だ が、 恐 ら

く 11-2 不 二 こと に 行 っ っ。

(当方判. 案文 確定 した 上 には 至 急 各方 の 事

(積極的 に 11-2 不 二 こと にも 行 っ っ) ^{外務省}

連絡及び...を希望した。

(注) 11:30 沖縄復帰準備委員会の連絡に
よるに、本件のうち、本 25日 正午 7時

午後 記者会見を行ない、上記要旨
を記者用に発表する由である。

大臣秘書官
事務次官
外務審議官
外務審議官
官房長

情報文化局長
報道課長

アメリカ局長
参事
北米第一課長

条約課長

安全保障課長

毒ガス撤去作業中の事故に関する
プレス・リリースの用覽について

46. 8. 25
北米第一課

在京米大使館より、本件に関する別添のプレス・
リリースを入手したので用覽に供します。

PRESS RELEASE

ISSUED NOON AUGUST 25 BY USARYIS INFORMATION OFFICE

At 7:55 a.m. this morning a pallet containing 15 GB agent filled rockets dropped approximately 40 feet into hold #4 of the USNS Sealift as a result of a sling slipping and subsequently dropping the load.

All personnel on the pier and the ship masked in accordance with standard safety practices and the technical escort personnel moved into the hold for a detailed inspection. No injuries occurred as a result of the mishap.

After a detailed inspection by technical escort personnel, it was determined that there had been no leakage. The rockets were encased in specially designed two-compartmented containers as a precautionary measure and operations on the pier resumed after an approximate hour delay. Convoy movements resumed with convoy 2 which crossed checkpoint at 11:27 a.m.

August 25, 1971